

各 位

会社名 アルインコ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小林 宣夫
 (コード番号 5933 東証第一部)
 問合せ先 取締役経理本部長 坂口 豪志
 (電話番号 06-7636-2222)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月1日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年3月21日～2021年3月20日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	52,050	2,050	2,340	1,380	70.72
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (2020年3月期)	55,613	3,338	3,461	2,155	108.73

(2) 業績予想公表の理由

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であるため未定としておりましたが、当第2四半期連結累計期間(以下、当第2四半期という)の業績等を踏まえ、最近の経済動向や現時点において入手可能な情報をもとに、通期連結業績予想を算定しましたので公表いたします。

当第2四半期におけるわが国経済は、2020年4-6月期の実質GDPは前期比年率マイナス28.1%となったものの、9月の政府月例経済報告や日銀短観では足下での景気の底入れ感が示されており、当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界においてもレンタル機材の出荷動向に増勢の兆しが見えるなど、経済活動は当第2四半期を底に回復傾向を示すと仮定しております。

このような状況のなか、当社のコア事業である建設機材関連事業やレンタル関連事業における需要動向は、当第3四半期から翌連結会計年度にかけて緩やかに回復に向かうことを想定しております。また、上期まで好調に推移した住宅機器関連事業は引き続き通販やインターネットを中心に堅調な販売が見込まれるとともに、当第2四半期に生じた双福鋼器株式会社の完全子会社化に伴う一過性の費用として発生したのれんの償却がなくなることも利益面で寄与いたします。

以上により、2021年3月期下期連結業績予想における前年同期対比の減少幅は、下表のとおり当上半期の減少幅に比べて大幅に縮小する見込みであります。

(単位：百万円)

	2021年3月期 上期実績	前年同期比 増減率(%)	2021年3月期 下期予想	前年同期比 増減率(%)	2021年3月期 通期予想	前年比 増減率 (%)
売上高	25,202	△11.3	26,848	△1.3	52,050	△6.4
営業利益	975	△51.7	1,075	△18.4	2,050	△38.6
経常利益	1,124	△47.8	1,216	△7.2	2,340	△32.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	602	△53.8	778	△8.7	1,380	△36.0

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期の配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —				
今回修正予想	—	19 00	—	19 00	38 00
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	—	19 00	—	19 00	38 00

(2) 配当予想公表の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付け、安定的な配当の維持を基本方針とし、連結配当性向40%を目標として配当を決定しております。

未定としておりました2021年3月期の配当予想につきましては、配当の基本方針に沿って、直近の業績及び上記連結業績予想や今後の資金需要及び内部留保の状況等を総合的に勘案し、前期実績と同額の1株当たり中間配当金を19円、期末配当金を19円とさせていただきます。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上